

I-1 県民総参加の森林づくり推進事業

1 実施主体(地区)

大分県、森林づくり流域協議会

2 実施事業の概要

目的

森林環境税関係事業による新たな森林づくりを着実に進めるために、県民主導の推進体制を整備するとともに、県民へ森林環境税に関する情報提供を行う。

(1) 新たな森林づくり普及啓発事業

森林の重要性について、県民の意識醸成を図るための効果的な広報活動を行った。

①新聞広報等

- ・県庁HP「みんなの森林づくり」により情報提供を行った。
- ・新聞広報の掲載（大分合同新聞）事業提案募集等 計3回
- ・TOSテレビ大分において「大分の森を守り育てる」（25分番組）で森林環境税の取り組みを紹介した。

②ふるさとおおいたの森写真コンクールの開催

募集期間：6月1日～1月31日

募集中数：85点

審査会を2月16日に開催し、最優秀2点、優秀4点、努力賞10点を選出した。

最優秀賞：「オアシスの森」



最優秀賞：「みんなで植樹」



(2) 第9回豊かな国の森づくり大会の開催

県民総参加の森林づくりを推進するために、豊かな国の森づくり大会を開催した。

開催日時：11月8日（日） 9:00～15:00

開催場所：立命館アジア太平洋大学、由布市湯布院町大字塚原

大会テーマ：「低炭素・グリーン社会は由布の森から」

主催等：大分県、由布市、(財)大分県緑化推進センター等

大会規模：参加者数約1,000人（森林ボランティア、公募参加者ほか）

森林づくり活動：面積 1.0ha

植栽樹種 ヤマザクラ、ウリハダカエデ、コナラ、ヤマボウシ、ナナカマド

植栽本数 1,500本

式典の様子



植樹会場の光景



(3) 新たな森林づくり推進体制整備事業

税を活用した事業の適正な運営のため、森林づくり委員会、流域協議会を開催した。

①「森林づくり委員会」の開催

区分	月日	協議事項
第1回	7月30日	21年度事業の概要、街角木ポイント事業審査
第2回	11月16日	街角木ポイント事業商店街の審査、新たな育林技術研究開発事業の審査、22年度事業の取組について、森林環境税の見直しについて
第3回	3月26日	21年度事業の取組について、22年度事業の取組について

②「森林づくり流域協議会」の開催

県内4流域で行うNPO等が行う森林づくり事業（公募）の審査や事業成果の検証等を行った。

3 成果

(1) 新たな森林づくり普及啓発事業

- ・新聞広告やHPを活用し、森林づくりに関する多くの情報を提供することができた。
- ・キャラクターによるPRや写真コンクールの実施により都市民をはじめ、広く多くの県民の森林づくりへの関心を高めることができた。

(2) 豊かな国の森づくり大会の開催

- ・多くの県民が参加することにより、森の役割や森林づくりの重要性が理解された。

I-2 森林づくりボランティア推進事業

1 実施主体(地区)

大分県、市町村、森林ボランティア団体

2 実施事業の概要

目的

県民一人ひとりが身近な森林づくりに参加し、県民みんなで森林を守る意識を醸成するとともに、森林ボランティア活動の活性化を図る。

(1) 森林づくりボランティア支援センター事業

ボランティア活動の情報拠点施設として「大分県森林づくりボランティア支援センター」を設置し、県民に対する情報の提供等を行った。

委託先：特定非営利活動法人 グリーンインストラクターおおいた

委託内容：①HP (<http://www.o-midori.jp/>) による最新ボランティア情報の収集・発信

②「支援センター通信」の発行（毎月1,000部発行）

③森林ボランティアの登録

年度	H18	H19	H20	H21
実績	582	1,033	1,226	1,318

※H21年度 H22.3月現在

(2) 森林づくりボランティア活動支援事業

植栽・下刈りを行った森林ボランティア登録者に対して、森林づくり活動実績に基づく支援物品を交付した。

(3) 森林づくりボランティア技術向上事業

ボランティアの知識や技術向上のため習熟度別に研修を行った。

①森林ボランティアセミナー

対象及び日数：団塊の世代等の方を森林ボランティア活動に呼び込むための1日の研修会

受講者数：10月18日（9名）、11月1日（7名） 計16名

講座内容

- 1) 森林・林業の現状等の説明
- 2) 森林づくり体験（下刈り、つる切り）
- 3) 森林の楽しみ方（竹筒飯炊飯、燻製、花炭づくり）
- 4) 森林観察（荒廃人工林と手入れのされた人工林比較、森林浴体験）
- 5) 採穂場見学（スギ、ヒノキ）

②森林ボランティアリーダー養成研修（初級コース）

対象及び日数：森林ボランティアに興味を持つ方向けの2日間の入門講座

受講者数：7月19日／26日実施13名、9月27日／10月4日実施11名

2月14日／21日実施1名 計25名

研修内容

区分	講座内容
1日目	森林概要・森林の基礎知識：大分県の森林・林業の現状等紹介 森林ボランティアについて：具体的に始める方法を紹介 危険な野生生物：危険な虫やへび、植物についての見分け方や対処方 森林自然観察：森の中を歩きながら、樹木を見ての自然観察会
2日目	救急措置：事故を未然に防ぐ方法や、また事故への対処法（日本赤十字社） 森林づくり実習：実際に山に入り、植樹や下刈りなどを体験

③森林ボランティアリーダー養成研修（上級コース）

対象及び日数：積極的に森林ボランティア作業に参加していく意志のある者

研修内容：刈払い機に関する知識、点検、実技

受講者数：11月15日実施 受講者30名

- (4) 企業参画の森づくり推進事業
 企業の社会貢献活動としての森づくりを支援した。
 ・平成21年度新規実施箇所

企業名	活動場所
オルタスクエア株式会社	佐伯市
株式会社東芝大分工場	豊後大野市
九州電直株式会社大分支店	玖珠町、九重町

- (5) 地域協働の森林づくりモデル事業
 NPOや企業の協働したボランティア活動による地域の放棄森林の解消と地域の森林を地域で守る意識の醸成のための森林づくり活動に支援した。

実施主体：塚野地域協働の森林づくりボランティア
 実施場所：大分市塚野
 実施内容：植栽、作業道整備、散策路整備等

- (6) 森林づくり支援事業
 市町村が森林ボランティア団体等に貸し付けるため導入する竹粉碎機購入に対して助成した。

市町村名	導入数	交付額
大分市	1基	1,814,400円
由布市	1基	1,764,000円
竹田市	1基	1,680,000円
中津市	1基	1,821,750円
玖珠町	1基	1,384,320円
計	5基	8,464,470円



- (7) 森林づくり提案事業
 ボランティアを活用した森林づくり等を行った32のNPO等の団体に助成した。
 (別紙参照)

中津江村地球財団



大野町森林クラブ



3 成果

- ・森林ボランティア参加者数が増加した。(H20:9, 734人→H21:12, 567人)
- ・NPO等と協働したボランティア活動が促進できた。

	流域名	事業主体	活動場所	事業内容	交付額
1	大分北部	明日を見つめる'あき21	国東市国東町	国東半島の両子山を中心とする山地を一周するトレッキングコースに道標を設置(50箇所)	350
2		山川草木シューレ 一森と人々をつなぐ会	杵築市山香町	山仕事の経験のない人を対象に椎茸栽培の体験会を実施	209
3		別府湾水産振興協議会	別府市、日出町	漁業者による森林づくり(下刈0.4ha2回、補植)	95
4		昔の様に小川の山で花見しよう会	国東市安岐町	スタジイ林を整備し、地域住民のための憩いの場に復元する。(竹除去、広葉樹植栽、散策道等整備)	300
5		小城観音を守る会	国東市武蔵町	県指定の自然環境保全地域並びに天然記念物であるスタジイ林内で竹の除去と樹木名札の設置	150
6		「耶馬の森林」育成協議会	中津市耶馬溪町	福岡県民等下流域市町村(参加人数480人)による耶馬溪ダム周辺の森林づくり活動(0.14ha)広葉樹植栽を行う。	500
7		豊前海水産振興協議会	宇佐市院内町	漁民による植栽地の下刈(0.66ha)、交流会(参加人数75人)	200
8		栗山と両戒山の里づくり実行委員会	宇佐市	広葉樹の植栽(40本)、交流会、木製ウッドデッキの設置	500
9		上村生産森林組合	豊後高田市	小学生並びに父兄の参加でクスギの植栽と交流会の開催、ヤブツバキ林での森林環境教育実施	500
10		NPO法人 耶馬溪の自然と景観を守る会	中津市耶馬溪町	耶馬溪ダム周辺の景観の保全と森林の水源涵養機能の増進を図るため、ダム利水地域の森林ボランティア、地元観光協会、地元商工会が協働して、荒廃林の整備・植樹及び植栽地の下刈りを実施する。	300
11	大分中部	奥江の森を元気にする会	由布市湯布院町	竹林の伐採整備、森林教室、炭の製造と炭窯管理、炭窯への道の補修	390
12		NPO法人 グリーンヘルパーの会	由布市湯布院町	水分漁民の森(2ha・3,000本)、城ヶ岳漁民の森(0.8ha・920本)の保育(下刈り)活動	500
13		NPO法人グリーンインストラクターおおい	由布市狭間町	里山整備、放置竹林の整備と竹の伐出、七夕用竹の配付、オオイタサンショウウオの繁殖地整備	400
14		つくみ環境美化グループ	津久見市	青江ダム少年いこいの森、彦岳の森の公園の下草刈り	430
15		NPO法人 碧い海の会	大分市	間伐、枝打ち、蔓切り、遊歩道づくり等の森林整備・森林環境教育、障害者と健常者の交流、木炭づくりと障害者施設への寄贈	500
16		四浦を考える会	津久見市	河津桜等、広葉樹の植栽による里山整備	750
17		NPO法人 緑の工房なぐらす	大分市、竹田市、 国東市、佐伯市	森林環境教育の実施、森林植生等調査実施、森林保護を考える普及啓発活動(マイ箸袋、紙芝居による森林環境教育等)	500
18		河原内つじ会	大分市	名木、山桜周辺の整備・荒廃竹林の伐採整備と竹林の有効活用(堀堀体験、竹炭づくり、竹細工)	251
19		おおい環境塾	由布市庄内町	植林後の育成(下刈り)、作業体験(年3回)、森林環境教育	300
20		NPO法人 アシスト・パル・オオイタ	大分市野津原	大分川ダム周辺の里山の再生(植樹、下草刈り)、自然観察会(平成森林公園)	450
21		明治楽友会	大分市	竹林、雑木林の改善整備による昔の里山環境の再生・奥地湿地ゾーンの新たな環境づくり	1,000
22		北海道海域水産振興協議会	大分市、津久見市	北海道海域の「漁民の森づくり」で植栽した広葉樹の下刈り	55
23	NPO法人 大野町森林クラブ	豊後大野市大野町	森林づくり大会(森林作業体験、森林教室、木工教室)の開催(年2回)	444	
24	大分西部	(財)中津江村地球財団	日田市中津江村	ボランティアや森林所有者等による森林整備(植樹や下刈)や交流会を実施する。	1,000
25		日田市	日田市	日田市の伝統的な文化財である祇園山鉾や小鹿田の唐臼等の材料となる木を市民のボランティアにより植栽し「文化財の森」として育てる。	400
26		ホームिंग日田実行委員会	日田市	児童生徒を対象に春のタケノコ狩り、林間わさび採り、野菜の苗植え、夏のキャンプ、秋の林間作物の収穫や山林作業の枝打ちや間伐作業の体験を通し、水源地域の森林の大切さを体験し、環境教育の充実を図る	1,000
27		ひた地球温暖化防止協議会	日田市	日田市有林の一部を利用して将来、薪炭材として利用可能な樹種を植林し、森林の育成と木質バイオマス利用の重要性の認識を図る。	300
28		自然の森林づくりプロジェクト	日田市	広葉樹の自生を促しながらその育成過程を経過観察し、地域の森林づくりを行う。	180
29	大分南部	かぶとむしの村を創る会	佐伯市直川	「直川憩いの森公園」でクスギの植栽運動と昆虫採取の場づくりを実施	470
30		佐伯広域森林組合	佐伯市	森林ボランティア活動推進のため、公募による参加者や森林ボランティア活動により行われる植樹や育樹などの森林整備、保全活動を実施する。	500
31		特定非営利法人 豊の国雇用・福祉事業団	佐伯市直川	再造林放棄地に地域の植生を生かした樹種(広葉樹)を地域の親子等を募集して植栽し、下刈りなどを行う。	349
32	森共	森と循環型社会を考える会	別府市	循環型資源でもある森林資源を活用した経済活動を推進するための方策を考えていくと共に、広く対外的にアピールするためのシンポジウムを開催する。	700

I-3-(1) 上下流住民等による海岸漂着流木処理活動

1 実施主体 地区自治会、NPO等の団体

2 実施事業の概要

(1) 目的

近年、上中流域の荒廃森林などから流出した流木等が大量に海岸に集積して、下流域住民の生活、経済活動の障害となっているが、撤去のための重機作業による回収、流木の切断、処理施設への搬送等に多大な人手と経費が必要であり、下流域住民や市町村だけの対応は困難になってきている。

このため、地区自治会、NPO等の団体がボランティア活動により海岸の漂着流木等の処理を行う場合に必要な経費の一部を補助するもの。

(2) 事業内容

団体名	実施日		場所	参加人数	処理量
NPO法人水辺に遊ぶ会	6月21日	9月27日	中津市大新田海岸	542	約 60m ³
	12月13日	3月14日			
NPO法人923みんなんクラブ	7月18日		国東市国見町内海岸線	400	約 5m ³
NPO法人虹の翼	10月10日	10月13日	佐伯市大入島海岸一円	35	約 30m ³
長洲アーバンデザイン会議	10月23日	10月24日	宇佐市長洲海岸	400	約 10m ³
計				1,377	約105m ³

3 成果

上記4団体が事業を実施し、約1,400名の県民参加により、海岸に漂着した流木等約105m³の処理を行うことができた。

4 実施状況写真

NPO法人水辺に遊ぶ会による実施状況



NPO法人923みんなんクラブによる実施状況



NPO法人虹の翼による実施状況



長洲アーバンデザイン会議による実施状況



I-3-(2) 漁業者等による漁港・港湾内等の流木処理活動 (森と海をつなぐ環境保全推進事業)

1 実施主体

大分県漁業協同組合

2 実施事業の概要

台風等で流出し、漁港や港湾内などに漂着・滞留し、漁船の出入港の障害や漁業施設等に被害を及ぼす恐れがあった流木等を、地元漁業者らが緊急的に回収・処理した。

作業箇所：4箇所

処理量：1,100m³

3 成果

- ・漁港内等の流木等を迅速に回収・処理することで、漁船や漁具等への被害を防止できた。
- ・迅速な回収・処理により、漁村環境を維持することができた。

4 課題及び今後の取組み、その他

- ・今後も、本事業を実施することにより、漁業被害の軽減に努める。

5 実施状況写真

重機による回収・処理



重機による回収・処理



I - 4 おおいた竹林再生モデル事業

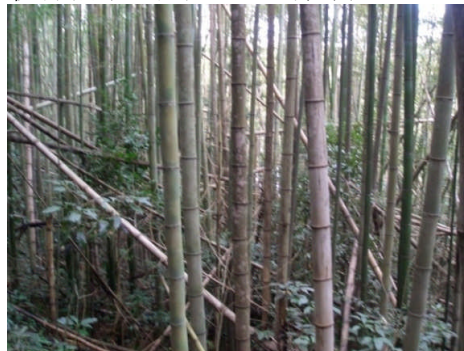
県土の保全と良好な景観を確保するため、地域特性や立地条件を踏まえて、主要観光地周辺や幹線道路沿線における荒廃竹林の伐採整理により、良好な森林環境及び景観の保全を図り、併せて、すべての県民で森林を守り育てる意識の醸成並びに観光振興をはじめとする地域振興への寄与を目的として、県下6箇所、8.31haの整備を実施しました。

おおいた竹林再生モデル事業実施箇所表



NO	実施主体	箇所	面積ha
1	おおいた森林組合	由布市挾間町北方	1.10
2		由布市庄内町櫟木	1.00
3	東国東森林組合	国東市武蔵町小城	1.32
4	玖珠郡森林組合	玖珠町大字大隈	0.58
5	大分県造園建設業協会	大分市大字里	2.42
6		大分市大字屋山	1.89
計			8.31

伐採前(由布市庄内町櫟木)



伐採後、広葉樹植栽実施



伐採前(大分市大字里)



伐採前(大分市大字里)



伐採後



伐採後

